

「団子さし」をしました

1月11日(金)、1・2年生が一足早く「団子さし」を行いました。講師に佐藤さんと清野さんをお迎えして、4班に分かれての作業です。最初は、飾り付け用の赤や黄色、緑の食紅を使った色鮮やかな団子を作りました。そして、あらかじめ作っておいた飾りと一緒に、ミズキの枝に飾り付けました。できあがった団子さしの木を見て、子ども達からは「きれいだね。」と歓声が上がりました。

その後は、協力して全校生分の団子作りです。全校生にたくさん食べてもらおうと、たくさんの団子を作りました。そして、ゆであがった団子にきな粉をまぶして、各学級に届けてくれました。職員室にも届けてくれたのですが、とても嬉しそうな笑顔と大きな声で「お団子を食べてください。」と、しっかりお使いもできました。1・2年生の作ってくれた団子を見たり、食べたりしながら高郷の地にも春の足音が少しずつ近づいてきているように感じました。

今回の団子さしの学習も地域の方に支えて頂いて充実したものになりました。今年も、子ども達のために、どうぞ地域の方々のお力をお貸しくさせていただきますようお願いします。



団子を作る子ども達



飾り付けをする子ども達



フッ化物洗口開始

1月10日(木)フッ化物洗口が始まりました。(毎週木曜日の朝の会の時間に実施する予定です。)朝、各クラスごとに音楽に合わせて、「ブクブクうがい」を行いました。子ども達は、とても上手にうがいを行うことができていました。感想としては「シナモンみたいな臭いがする。」「口の中がスッキリした。」「歯がツルツルするよ。」といった声が聞かれました。

本校は90%近くの児童にむし歯がありません。(県内では1年生の6割がむし歯ありですから、これは、すごいことなのです。)フッ化物洗口とよい歯磨き習慣が定着することで、「むし歯ゼロ」になってくればと思います。

インフルエンザ感染予防を

いよいよ冬本番、大寒を前にしてインフルエンザが流行し始めました。喜多方市でも、罹患した児童がどんどん増えてきています。

高郷小学校では、インフルエンザ感染予防として、「お茶うがい」「登下校時のマスク着用」「手洗いうがいの励行」「不用な外出を控える」ことを指導しています。ご家庭でもご指導ください。

「インフルエンザに罹患したかな?」と思った時は、登校させずに病院で診察を受けてください。インフルエンザと診断された時は、

○発症後、翌日から5日間・解熱後2日

登校できるとなります。判断が難しい時は医師に相談してください。よろしくお願いします。

